

2017 年度 基本方針

～専門家との協同と市民対話を～

1・子どもの現状分析—子どもたちの生きづらさの現状を見つめよう—

<子どもの危機の背景・問題提起>

最近の社会や世界の動向になんとなく「雲行きが悪さ」（心配感）を感じるのは私だけでしょうか？

いま世界各国に共通する問題（心配）は、経済的（経済資本）、文化的（文化資本）、社会的（社関係資本）格差の拡大とみてよいでしょう。しかもそれらは国家の内部においても、また国家間（国際的）においても増大しています。例えば、国家間では難民問題となって現れこれらを背景に「テロ」事件の広がりが見られます。国内においては、非正規雇用の増加をはじめ雇用条件の不安定化、高齢者人口の増加と若者をはじめどの世代にも暮らしの格差と貧困化が生じています。社会学的に言うと、これらの危機を背景に、「人間関係の流動化・社会の流動化（不安定化）」が生じ、その結果、人々のコミュニケーションの齟齬や断絶、人間関係の凝集化と希薄化など様々な葛藤が問題として生じるのです。

他方、政治学的に見ると、北欧諸国をのぞいて、どの国においても A 氏やトランプ氏の登場に見られるように、力を背景にした覇権主義的政治家が支持を受け、ポピュリズムが拡大し逆に民主主義の危機が進行します。巷には「戦争の危機」が流布され、軍事化への注目度も強まり、その反対に「平和」や「民主主義」（対話）が後退する事態がどの国にも現れます。（逆に民主主義の発展指標の一つとして NPO の拡大もありますが）したがって、各国共通にポピュリズムに寄りかかったパフォーマンス型の政治がその場しのぎで拡大する現象も起こるのです。これら、社会や大人の世界の問題は子どもの世界にも何らかの形で影響しています。子どもの貧困やいじめ・虐待などが心配されるのもこれら社会や世界の動きと決して無関係ではありません。

<子どもの生きづらさに向き合う>

格差や貧困、「生きづらさ」が子どもの世界にも確実に浸透してきています。

例えば、平成 27 年度中に、全国 208 箇所の児童相談所が **児童虐待** として対応した相談 **件数** は 103,260 件（速報値）で、これまでで最多の **数値** です。

これは統計を取り始めた 1990 年度の 1.101 件から急速に増加し続けています。

とくに大阪府は全国最高で 7874 件（前年度比 30% の増加）で、次いで多かったのが東京都の 7814 件（同 27% 増加）、埼玉県 5600 件（同 10% 増加）、千葉県 5173 件（同 8% 増加）、などです。当協会では本年度から大阪府からの委託事業として虐待通告一次相談、緊急事態に対応する安全確認・電話相談事業（「189」）をはじめました。

つぎに、いじめはどうでしょうか？

大津市の中学生いじめ自死事件を契機に国の「いじめ防止対策推進法」が施行され、各自治体のいじめ対応も徐々に進んできましたが、昨年 11 月横浜市では福島原発事故で自主避難した中学生が小学時代からいじめにあい不登校に陥るといふ「いじめ重大事態」が起り、文科省調査では横浜以外にも各地で発生していることがわかりました。このようにいじめ問題は依然として根本的な解決に至っていないのが現状なのです。

さらにこの間、大人の自殺は減少傾向にあるものの子どもの自殺は、2016 年の警察庁統計からは小中高生が 300 人以上に達しており減少傾向はみられません。

不登校の児童生徒も年間 30 日以上欠席者は 10 万人以上で推移しており児童生徒の減少傾向にもかか

ならず不登校の比率は減少しておらず、最近では小学生の不登校が増加していることが注目されます。

さらに近年看過できないのは、子どもの貧困率の上昇です。とくに一人親家庭の子どもの相対的貧困率は50%を超えているように深刻です。

以上のように、「豊かな国」日本の子どもたちの多くが実は大変な生きづらさを抱えながら日々を過ごしているのです。

子どもの貧困への対応策として、いま「子ども食堂」が全国各地に広がっています。本年2月には滋賀県内で全国子ども食堂大会が開催され交流会には400人以上の参加者あり、「子ども食堂」が地域における居場所作りの一貫として、また子どもの貧困対策としても効果的であると話し合われました。しかしながら、「子ども食堂」は子ども一施策に過ぎず、子どもの豊かな生活、最善の利益を保障する上ではさらに今何が必なのかを明らかにしてゆくことが大切です。

そこで、子どもの貧困対策の先進国であるイギリスを見てみましょう。例えばイングランドでは、ある町全体で子どもの貧困に取り組み、各小学校に「早朝子ども食堂」が設けられ多くの子どもが活用しています。

ある新聞はこの模様を次のように伝えています。『イングランド北西部の海沿いの町、ブラックプールにあるキンクレイグ小学校。始業前の教室で、並べられたパンケーキ、果物や牛乳を子どもたちが口に運ぶ。無料で自由に食べられる「朝食クラブ」だ。女兒(10)は「朝、食べると頭がよく働く」という。授業への集中力を高め、マナーや生活習慣を身につけさせようと、町が2013年、33の全小学校で始めた。町では、20歳未満のうち貧困世帯で暮らす割合が31.1%と全英で11番目に高い。朝食クラブは独自の施策で、財源は公衆衛生予算と政府の補助だ。・・・』(朝日新聞2017・4/27記事より)

2014年施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」には、子どもの貧困対策は国の責務であると表明されていますが、まだ市民の足下までに法律の手が届いていないのではないのでしょうか。関西こども文化協会は、子どもの権利条約の実現をミッションにかかげ、「子どもの最善の利益」に基づく様々な取り組みを市民、NPO、学校、自治体をはじめ多くの人々のネットワークづくりを進めてきました。その活動は徐々に広がり、本年度からは、児童虐待に関する一次電話相談事業(通称189)を大阪府とともにとりくみはじめました。今回、本総会後のシンポジウムでもこれら子どもの「生きづらさ」の背景について参加者の皆様とともに話し合い今後の活動計画に生かしたいと考えています。つぎに本年度の活動計画の基本方針を以下のように提案します。皆様方のご意見とご参加を期待しています。

2・今年度の具体的方針(8策)

(1) 子どもの権利条約の社会化をめざす活動

子どもが育つ環境基盤整備を進めていくため、今年度の事業計画においては、行政、並びに他のNPO・諸団体との協働事業をさらに充実させるとともに、子どもの権利が実現する社会の構築のためにその見直しを検討しアピールしていきます。そのための基本は私たちNPOが市民社会で多様な人々との対話をすすめることです。

また当協会が展開している各種事業の成果と教訓を出版物やHPなどにまとめること、子どもの権利条約実現の視点から意味づけ社会に発信できるように、幅広い専門家と協力してすすめます。

（２）子どもの居場所事業の発展

「つどいの広場」や「非行の子どもをもつ親の会（陽だまりの会）」、「サテライト事業」、「10代の子どもの居場所（ティーンズスペース）事業」、「ご飯の会」を発展させるとともに、ダイヤル「189」をはじめ24時間電話教育相談に直接寄せられる子どもや親の声を受け止め、子ども・家族への幅広い支援に取り組みます。これらの事業の成果と教訓についても専門家との協同をすすめます。さらに中高生の居場所と学習活動の場としての「近畿自由学園」の発展のためにスタッフの派遣に引き続き尽力します。

（３）電話相談事業の充実・発展

24時間電話相談事業、児童虐待の相談活動（189・安全確認）事業など電話相談事業の在り方を検討し、全国各地の事例にも学び理念・システム（相談員研修、相談員システム）などの検討を行うとともに、その事業の成果を社会に発信するための検討を行います。

（４）子どもの放課後空間を充実させる活動の発展

子どもの放課後空間を充実させるために、放課後空間にかかわる各種専門家との協同研究をすすめます。放課後児童支援員認定資格研修事業については引き続き、大阪府をはじめ社団法人日本学童保育士協会、並びに中野子ども病院、大阪市教育振興公社等とも連携し充実した研修活動に取り組みます。本年度実施予定の東大阪市他の放課後支援委託事業への参画をめざします。

（５）情報化社会を生きる子どもへの支援事業の発展

情報化社会に生きる子どもへの学習支援事業、SNSの活用と対応、Eラーニングなどの事業に新たに取り組みます。また、ネットいじめなどSNSと子どもの生活についての調査活動をすすめます。

（６）若いスタッフが活躍する取り組みと支援活動

若いスタッフの成長を支援します。若者の力が発揮でき広がるNPOに努めます。海外（ドイツ）へ職員を派遣し、海外の子ども支援事例に学び、事業の継続・充実を図ります。

（７）理事会の強化と広報事業の発展

理事をはじめ会員の方々の専門性や持ち味を生かした活動を組織するとともに、理事、会員のみなさまの活動内容を随時紹介し文化協会のメンバーシップを高めるよう努力します。

担当理事の持ち味を生かした自主事業を工夫します。また広報媒体であるインファernoのWeb化と同時にHPの充実を図ります。

（８）健全な財政と事務局の強化

NPO活動が持続発展するためには財政基盤の確立は重要な課題です。そのために会員数の増加をもとより、会費の検討、自主事業の発展にも力を入れます。なお、事務所の拡張に伴う事務環境の整備に努めます。

事業拡大に伴い事務局の仕事が急増しています。事務局担当者の増員を早急に行います。同時に事務局の会議の定例化と充実につとめます。